

開府500年を迎える今だからこそ人権意識をあらためて考える



甲府は来年開府500年を迎えます。その歴史の中で人々は暮らし先祖は子孫をつないできました。100人いれば100の気持ちがあり思想があります。それは昔も今も変わりません。遡れば、当時から人と人がぶつかり合うことや、誹謗中傷、嫌がらせ、いじめがあったはずですが、それらを乗り越え500年という歴史の中に甲府は存在しています。現代と異なり限られた物資での生活において、人と人のつながりはより深かったと想像します。そのぶつかり合いも多かったのではないのでしょうか？それでもコミュニティを形成し街として機能してきたのは、人権の原点となる人を思いやる気持ちがしっかりと存在し根付いていたからだと思います。それは日常生活だけではなく経済でも同じです。相手のことを考え思いやる気持ちが商売を発展させ経済成長につながっています。人は決して一人では生きられません。社会として機能するには、人を思いやる基本的な人権意識が必要です。そこに人間社会の原点があるのだと思います。

開府500年を迎える今だからこそ、その歴史と共につないできた人権意識をあらためて考える機会にしてほしいと思います。いつの時代でも人々は支え合いながら生きています。人権意識が高まれば、争いや差別は減っていくはずですが。

私たちは人権啓発を継続して行っています。争い、ハラスメント、差別をなくして、住みやすい世の中になることを願って活動しています。啓発は人の心に訴え気がついてもらうこと、人権の大切さに気がつき人権意識が高まれば行動が変わります。世の中も変わっていくはずですが。簡単なことでないことは承知していますが、大切なことだからこそ続けています。

もちろん、私たちだけの活動では力が足りません。行政と協働して行うことで、より多くの方に伝えることができると考えています。行政も賢明に人権啓発を行っていますが、差別はなくなり、いじめ問題は増え続けています。まだまだできることがあるはずですが。動めると活動がマンネリ化し内容が薄れかねません。しっかりと目的意識を持って活動していきたいと思っています。開府500年も人々が継続してきた歴史の結果です。啓発の結果は数字で表わすことができず目にも見えませんが、私たちも人権の歴史をつないでいくよう継続してがんばっていきます。市民のために大きな役割を担う行政にも、新しいアイデア、企画、新規事業を期待します。

子どもの人権を考えよう

未来を背負う子どもたちが笑顔で安心して暮らせるために

私たちが目指すのは差別なき社会です。子どもたちが安心して笑顔で暮らせる社会です。今、虐待やいじめなど子どもたちの人権が脅かされています。立場の弱い子どもたちこそ、一人の人間として最大限に尊重し守らなければなりません。未来を背負う子どもたちが笑顔でいられるために、安心して暮らせるために、私たち大人ひとり一人が人権意識をしっかりと持って子どもの人権を考え守らなければいけません。



活動報告

人権啓発パネル展 11月8日～11月21日 市立甲府病院・甲府市中道公民館にて「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。

人権移動教室 11月1日 甲府市立玉諸小学校、11月16日 甲斐市立竜王学校にて人権移動教室を開催しました。



今後の予定

人権啓発パネル展 12月5日～12月18日 (甲府市北公民館)、12月5日～12月18日 (甲府市南公民館)

<お詫びと訂正>

先月号「今後の予定」の人権移動教室にて「11月1日 (甲府市立玉諸小学校)」が抜けておりました。ここに訂正させていただきます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ

代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp